平成29年度統合化推進プログラム研究開発提案書

区分４

**様式の記入に当たっては、募集要項「記入要領」を必ずご確認ください。**

**ご注意：本メッセージは提出前に研究提案書から削除。**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名 |  |
| 開発対象データベースの名称（URL） | (http://) |
| 研究代表者氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 |  |
| 研究者番号 |  |
| 学歴(大学卒業以降) |  |
| 研究歴(主な職歴と研究内容) |  |
| 研究代表者の情報 | http:// |
| 研究開発期間 | 2017年　月～　　　　年　　　月(　　　年間) |
| 希望する研究開発費 | 全研究開発期間での研究開発費希望総額 (　　　　　万円)（直接経費のみ） |

※研究者番号：e-Radに研究者情報を登録する際に付与される8桁の番号

# 研究開発提案の要旨

## 概要

|  |
| --- |
| ・400字程度で研究開発の目的と計画を記載。・本項目をe-Rad入力項目の「研究目的」「研究内容」に転記頂いても構いません。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

# 構想

|  |
| --- |
| ※必要に応じて図表（カラー可）を用いて構いません。※e-Radのアップロード上限は10MBですのでご留意ください。※業績リストの記載内容を適切に引用してください。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

## 1．研究開発対象とするデータベース・ツール等

### 1-1．データベース一覧

|  |
| --- |
| ・研究開発の対象とするデータベースの名称、URL及びデータベースの説明を記載してください。・研究開発課題が研究開発を行うデータベース（主なデータベース）は基本的に一つとします。互いに独立して運用される２つ以上のデータベースを研究開発対象とすることはできません。ただし、主なデータベースに有機的に連携しているデータベースについては、主なデータベースの価値を直接的に高めるための最低限な維持・更新や研究開発を行うのであれば、研究開発対象とすることが可能です。※「ツール等」は、ビューア、解析ソフトウェア、プラグインなど。※「その他のデータベース」「ツール一覧」は、適宜、行を増やしてください。 |

【主なデータベース】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | URL | 管理者 | 概要 |
| 1 |  |  |  |  |

【その他のデータベース】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | URL | 管理者 | 概要（主なデータベースとどのように有機的に連携しているか） |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |

### 1-2．ツール等一覧

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 名称 | URL | 管理者 | 概要（主なデータベースをどのように活用するものか） |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |

### 1-3. 主なデータベースの応募時点での研究開発状況

|  |
| --- |
| ・「対象とするデータベース」の条件について満たしている項目をチェックしてください。・「対象とするデータベース」の条件c)～i）については、応募時点で満たされていない場合でも、当初3年以内で全ての条件満たすならば応募可能です。条件を満たす研究開発を「達成目標」「実施計画」に記載してください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **チェック** | **対象とするデータベース条件** | **提案書中の関連項目** |
| - | a. データ搭載対象の研究分野は、次の両方に該当する。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 生命科学分野のうち基盤的であって、基礎・応用問わず多方面の研究開発への影響力がある研究分野 |
| □ | 我が国において一定以上の規模がある、あるいは今後規模の拡大が見込まれる研究分野 |

 | 「1-4-2.研究分野の位置づけ」 |
| - | b. 次のいずれかに該当するデータベースである。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 国際的に中核的な立場にある生命科学系データベース |
| □ | 我が国として独自に整備すべき生命科学系データベース |

 | 「1-4-3.データベースの位置づけ」「1-4-5.連携しているデータベース」「1-4-11.利用の状況」 |
| □ | c. 搭載・公開する研究データは、原則として網羅性がある。搭載する範囲を限定する場合、限定する範囲がデータベースの目的に照らして適切である。 | 「1-4-6.搭載するデータ」 |
| □ | d. 研究データは、品質が明確な基準に基づいて検証され、必要に応じて標準化、改訂、増補などがなされた上で搭載・公開される。 | 「1-4-7.搭載データの品質管理方法」 |
| □ | e. データの形式や構造、オントロジー、ID、メタデータ等は、生命科学分野や隣接分野のデータと連結されて統合的に利用されることを前提として開発され、また整備されている。また、NBDCとNBDCの共同研究機関が開発を進める統合化技術（※）と互換性を有する。※研究データのRDF化については、下記「DBCLS RDF化ガイドライン」参照。http://wiki.lifesciencedb.jp/mw/RDFizingDatabaseGuideline | 「1-4-6.搭載するデータ」「1-4-8.オントロジー」 |
| □ | f. データベースの利用許諾条件として、CC BY-SA、CC BY、またはCC 0を採用する。すなわち、利用者が了解を得ることなしに、営利目的も含め、データを改変した上で再配布すること等を可能とする。ただし、ヒト試料を用いた研究等の成果として産生され、かつ倫理的な配慮を要するデータを取り扱う場合、前文の条件に関わらず、適切なアクセス制限のレベルを設定し、データの利用に先だってその可否を審査する。 | 「1-4-4.データベースの利用許諾条件」 |
| □ | g. 開発対象のデータベースについて、データ搭載対象とする主な研究分野において充分な数の研究者が利用しており、今後、さらにより多く多様な研究分野からの利用が期待できる。 | 「1-4-3.データベースの位置づけ」「1-4-11.利用の状況」 |
| □ | h. 関連する国内外の研究組織（研究機関、学会等）と密に連携して開発・運用がなされている。 | 「1-4-5.連携しているデータベース」「1-4-12.研究者コミュニティ等との連携」 |
| - | i. (主なデータベース以外のデータベースを開発対象とする場合)ファイル形式、オントロジー、ID、インターフェースなどについて相互に有機的な連携がなされている。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 主なデータベースとは別のデータベースを開発対象としない。 |
| □ | 相互に有機的に連携している。 |

 | 「1-4-6.搭載するデータ」「1-4-8.オントロジー」「1-4-9.ユーザーインターフェースの設計」 |

### 1-4．主なデータベースの基礎情報

|  |
| --- |
| ・特に指定が無い限り、応募時点の情報を記載してください。※「対象とするデータベース」の条件のうち応募時点で満たしてないものがある場合、研究開発開始3年以内に満たす具体的な計画を立案し、提案書に記載してください。 |

#### 1-4-1.概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **名称** |  |
| **2** | **URL** | http:// |
| **3** | **公開開始日** |  |
| **4** | **主な論文の書誌情報** | 著者名（全員分）、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL2報以内。 |
| **5** | **ソースコードや関連ドキュメントの掲載場所** | 無し／有り | http:// |
| **6** | **データセットの一括ダウンロード機能** | 無し／有り | http:// |

#### 1-4-2.研究分野の位置づけ

|  |
| --- |
| ・データ搭載対象の研究分野が、次の両方に該当することについて、その根拠（論文発表数の推移、代表的な研究者名・文献名、関連学会数・学会員の推移、国内外の関連政策の名称・予算規模・期間など）とともに、必要に応じて我が国の生命科学分野全体あるいは他の生命科学分野と比較して記載（分野動向については、例えば、CRDS（https://www.jst.go.jp/crds/）、NISTEP（http://www.nistep.go.jp/）などの調査報告書も引用可）。[対象とするデータベース条件a]・生命科学分野のうち基盤的であって、基礎・応用問わず多方面の研究開発への影響力がある研究分野・我が国において一定以上の規模がある、あるいは今後規模の拡大が見込まれる研究分野 |

#### 1-4-3.データベースの位置づけ

|  |
| --- |
| ・研究開発対象とするデータベースについて、以下のいずれに該当するか、その根拠（アクセス数、利活用した論文数の推移・被引用数等、データ収録数）とともに、必要に応じて関連・競合・類似する他のデータベースと比較しつつ記載。[対象とするデータベース条件b]・国際的に中核的な立場にある生命科学系データベース・我が国として独自に整備すべき生命科学系データベース・データ搭載対象の研究分野における、データ共有、公開に対する一般的な考え方。・データベースの維持・運用、さらなる発展のための研究開発について、どういった研究者コミュニティから、どのような期待、ニーズがあるか[対象とするデータベース条件b, g]。・どのような層の利用者（国内／国外、大学／企業等）が、研究プロセス（仮説構築、実験計画策定、実験の実施、結果の分析、論文執筆・投稿など）上のどのような場面で利用する事を想定しているか[対象とするデータベース条件b, g]。 |

#### 1-4-4.データベースの利用許諾条件

|  |
| --- |
| ・どのような利用許諾条件を採用しており、どのように表示しているかについて概要を記載[対象とするデータベース条件f]・ヒト試料を用いた研究等の成果として産生されたデータについては、倫理的な配慮を要するものであってアクセス制限か必要か否か、アクセス制限を行う場合にはデータの利用の可否を審査する体制等について記載。※ヒト試料を用いた研究等の成果として産生されたデータを含む場合には、当該データの取り扱いについてNBDCヒトデータ共有ガイドラインおよびNBDCヒトデータ取扱いセキュリティガイドライン（※）を遵守してください。[採択された研究代表者および主たる共同研究者の責務等(7)] ※http://humandbs.biosciencedbc.jp/guidelines |

#### 1-4-5.連携しているデータベース

|  |
| --- |
| ・本研究開発提案とは独立に運営されているデータベースのうちで現在連携しているデータベースに関し、下記項目を記載 [対象とするデータベース条件b, h]。名称、URL、概要、連携の内容（ある項目を参照している／されている、データ・メタデータを共有等）※必要に応じて図表を用いて記載。 |

#### 1-4-6.搭載するデータ

|  |
| --- |
| ・これまでに収録したデータの種類・量・範囲と、その妥当性（当該分野全体で生成されるデータ量の概算、応募時点までの収録数推移、データベースの目的等と比較）[対象とするデータベース条件c]。・収録する範囲を限定する場合、データベースの目的に照らして適切か、限定する基準は明確か[対象とするデータベース条件c]。・搭載時のデータ形式（形式の名称、対象とする研究分野において標準的に用いられているか、RDF規格やDBCLS RDF化ガイドライン（http://wiki.lifesciencedb.jp/mw/RDFizingDatabaseGuideline）との互換性をどのように保つかなど）[対象とするデータベース条件e, i]。・収録するメタデータの構成[対象とするデータベース条件e]。※必要に応じて図表を用いて記載。 |

#### 1-4-7.搭載データの品質管理方法

|  |
| --- |
| 品質管理の人員体制、チェックの基準や手順の概要、基準の周知方法など[対象とするデータベース条件d]。 |

#### 1-4-8.オントロジー

|  |
| --- |
| ・用いるオントロジーについて、以下の項目を記載[対象とするデータベース条件e, i]。名称、URL（あれば）、概要※原則標準的なオントロジーを用いることを推奨します。独自に拡張、開発した場合にはその旨と理由も記載して下さい。 |

#### 1-4-9.ユーザーインターフェースの設計

|  |
| --- |
| 以下の項目について記載。・（魅力的に見せるためのグラフィックデザインではなく）初見時の違和感や習熟コストを低減するためや、より早く目的とする情報にたどり着くためなど、利用者がスムースにデータベースの機能を理解して充分活用できるようにするためのインタラクティブなインターフェース・デザインを構築する上での施策。・カラーバリアフリー等のユニバーサルデザインに配慮した対応・モダンブラウザ、モバイル端末への対応等・（主なデータベース以外のデータベースも開発対象とする場合）主なデータベースとのインターフェース設計上の有機的な連携[対象とするデータベース条件i] |

#### 1-4-10.システム構成

|  |
| --- |
| ・主なデータベースのシステム構成について、応募時点の情報を記載。サーバーの設置場所、管理者・機関、その他サーバースペック等※図で表しても構いません。 |

#### 1-4-11.利用の状況

##### アクセス数

|  |
| --- |
| ・これまでのアクセス数の推移とその理由、妥当性及び今後のアクセス数の想定などについて、根拠（関連学会の会員数、関連データベースのアクセス数の推移、本提案で実装予定の機能・ツールの公開計画等）に基づき記載。[対象とするデータベース条件b, g ]・２つの表に、過去5年度の実績及び今後5年間の見込み数を記載。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **平成23年度** | **平成24年度** | **平成25年度** | **平成26年度** | **平成27年度** |
| **訪問者数** |  |  |  |  |  |
| **訪問数** |  |  |  |  |  |
| **ページ数** |  |  |  |  |  |

表．これまでの実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **平成28年度** | **平成29年度** | **平成30年度** | **平成31年度** | **平成32年度** |
| **訪問者数** |  |  |  |  |  |
| **訪問数** |  |  |  |  |  |
| **ページ数** |  |  |  |  |  |

表．今後の見込み

##### データベースを利用して得られた、第三者による成果論文

|  |
| --- |
| ・書誌情報（著者名、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL）、成果の概要、データベースがどのような観点で用いられたかを記載[対象とするデータベース条件g]。 |

##### その他、利活用状況を表す指標

|  |
| --- |
| ・上記以外で、データベースが研究者によって利用されていることを示す指標等があれば記載（問い合わせ数、共同研究実績数、SNSでの引用数など）[対象とするデータベース条件g]。 |

#### 1-4-12.研究者コミュニティ等との連携

|  |
| --- |
| ・関連する研究分野における、以下のような研究者コミュニティとの間の協議・連携・協力等の実績と予定[対象とするデータベース条件h]。・大学、研究所などの研究組織、学協会…データ提供に係る働きかけやデータベース運用等に関する協力・規模の大きなデータ産生プロジェクト（新学術領域研究、CRESTなど）…データ提供に係る働きかけ・ジャーナル発行機関…（開発対象のデータベースがリポジトリ機能を有する場合、推奨化に係る働きかけ |

#### **1-4-12.** NBDC以外の資金による、データベースへの支援状況

|  |
| --- |
| ・直近5年以内に受給した、あるいは申請中・今後申請予定の競争的資金、運営費交付金、共同研究、利用料、寄付金などを全て記載。・「VIII.他制度での助成等の有無」とは異なり、本提案の代表者、主たる共同研究者以外が受給したものも全て含めてください。※なお、現在、他の組織や制度において整備が進められているデータベースやそれに類似・競合しうるデータベースは本プログラムの対象外です。[対象外となる研究開発内容a] |

【過去5年以内に受給していた、あるいは現在受給中】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○大学○○データベース　寄付金 |
| **課題名****（代表者名）** | なし |
| **受給額** | **●期間全体**：30百万円(累計)、**●H28年度**：15百万円、**●H29年度**：未定 |
| **受給期間** | H25～（終了時期未定） |
| **本提案との相違点** | 開発対象データベースの維持支援を目的とした寄附金。具体的な使途は限定されていない。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |
| **4** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |
| **5** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |

【申請中・申請予定】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○プログラム　Aタイプ |
| **課題名****（代表者名）** | ○○データの整理・統合 |
| **申請額** | **●期間全体**：3百万円、**●H28年度**：-、**●H29年度**：1百万円 |
| **受給期間** | H29～H31（3年間） |
| **本提案との相違点** | ○○機能の高度化のため、○○データを○○DBへ搭載するもの。対象とする○○DBは同じだが、本提案では○○機能の高度化は対象外。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |
| **4** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |
| **5** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：　百万円、**●H28年度：**百万円、**●H29年度：**百万円 |
| **本提案との相違点** |  |

## 2．研究開発のねらい

|  |
| --- |
| ・本研究開発提案の実施を通じて、どのようなデータベースの開発を目指すのか、研究開発終了までに研究コミュニティにとってどのような価値を提供するか、いかに日本の生命科学の研究にイノベーションをもたらし得るか等について、提案者のねらいを記載してください。※本プログラムでは、研究データの統合的な活用を図るため、わが国の生命科学研究等によって産出された研究データを広く収集するデータベースを対象とし、より多くの多様な研究者にとってより価値のあるものへと発展させる研究開発を推進する事としています。 |

## 3．達成目標

|  |
| --- |
| ・「2.研究開発のねらい」に記載した構想を実現するに当たり、第3年次末及び第5年次末までに達成を目指す目標を、可能な限り具体的な指標を用いて記載してください。（例：「公共データベースの全データを精査し、最高○つの生物種の○○データを○○DBから公開する」、「オントロジーについて○○分野、○○分野の専門家と協議し、接続性の高いものを開発する」「データ整理に係る時間を○％低減する」「UIを刷新し、目的とする情報へ辿り着くまでの平均時間を○％低減する」「再訪問率（訪問数/訪問者数）を応募時点比で○％以上増加させる」等）・「対象とするデータベース」の条件のうち応募時点で満たしてないものがある場合、第３年次末までに条件を満たすことが必要ですのでご留意の上、目標設定を行ってください。※採択後、各年度の進捗把握の指標の一つとして用います。 |

#### 3-1-1．～第３年次末

・

・

・

・

#### 3-1-2． ～第５年次末

・

・

・

## 4．実施計画

|  |
| --- |
| ・6ページ以内（フォントサイズは10.5pt以上）。・「達成目標」を達成するための実施計画及び達成に当たって予想される問題点とその解決策を記載。・データ提供者、データ利用者（学協会をはじめとした研究者コミュニティ、学術雑誌、産業コミュニティなどを含む）と協働する仕組みの構築、多様な専門分野の多数の研究者が利活用できるように発展させるための研究開発についても記載してください。・「対象とするデータベース」の条件のうち応募時点で満たしてないものがある場合、第3年次末までに満たすための計画についても、具体的に記載してください。※本プログラムの研究開発対象をよりご理解頂き、記載願います（より多くの多様な研究者にとってより価値のあるものへと発展させる研究開発を対象とします。具体的には、研究データの収集・標準化・品質管理・公開・共有・安定運用に関する体制の構築や、他に開発されているデータベースとの連携・統合化とそれに必要な技術開発、研究効率化のためのインターフェース設計・開発、ツール開発などを含みます。これらの研究・開発の実施に当たっては、データ提供者、データ利用者（学協会をはじめとした研究者コミュニティ、食品業界、製薬業界などの産業コミュニティなどを含む）との緊密な連携・協業を必須とします[II.1-1概要]）。※次の研究開発活動が含まれる場合、選考の対象外とします [II.1-2対象外となる研究開発内容]。a. NBDCが（ファンディングとしてではなく）直接または他の組織や制度において整備が進められているデータベースやそれに類似・競合しうるデータベースの構築、運用、更新（例えば、ヒト試料由来データのリポジトリであるNBDCヒトデータベース（概要は募集要項「VI.6-4 NBDCヒトデータベース」参照）、日本医療研究開発機構「疾病克服に向けたゲノム医療実現化プロジェクト」で整備を進めているデータベース等）b. データベースに搭載するデータの産出を目的とした生物実験の実施c. 収録データの主体的な解析のうち新たな科学的知見を得るために実施するもの。d. 生物種別や生物学的階層別のデータベースあるいは個々の研究組織やプロジェクトから産出されたデータのみを搭載する個別のデータベースの構築、運用、更新、研究開発 |

## 5．利活用実績や関係者意見を集める方法

|  |
| --- |
| ・データ提供者、データ利用者との緊密な連携のために、関係者の意見・要望を集めたり、これまでの利活用事例や構築する仕組み等を構築する計画があれば記載。・下記のような会議を開催予定する場合、次の項目を記載。※会議開催地について、空きがあればJSTの会議室も提供可能です。ユーザー会議： 会議名称、目的、開催頻度、委員名簿（氏名、所属、役職）等利用講習会： 会議名称、目的、開催日（予定）、開催地（予定）等関係者との協議： 目的、対象者、開催日、開催地等・論文を独自に分析する場合は、利用する文献データベースや、文献の検索方法、分析の時期などを記載。・Webフォームを設置する場合は、URLや設問項目等を記載。応募時点ですでに設置している場合、設置時期、投稿件数、投稿内容と対応状況の概要を記載。・利活用実績や利用者等からの意見を踏まえて研究開発計画を再検討・詳細化する仕組み・流れ等については4.実施計画に記載。 |

## 6．研究開発期間終了後について

|  |
| --- |
| ・本プログラム終了後に、データベースを維持・運用するための研究・開発体制などを記載[応募者の要件c]。 |

## **7**．**前研究開発課題の概要・成果と本研究開発提案との相違点**

|  |
| --- |
| これまでに本プログラムに採択されている場合のみ記載。 |

# 実施体制

|  |
| --- |
| ・主に研究代表者の研究機関に所属する研究者からなる「研究代表者グループ」と、（編成する場合には）主に他の研究機関に所属する研究者等からなるグループ(「共同研究グループ」)の概要を記載[応募者の要件a, b]。※ 研究代表者や主たる共同研究者、研究体制にかかる要件は募集要項「III.1-1 応募者の要件」「III.1-2 研究体制の要件」を参照。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

### (研究代表者グループの研究実施体制)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究代表者氏名** | **研究機関・部署** | **役職** |
|  |  |  |
| **研究参加者氏名** | **所属機関・部署**(上記と同じ場合には省略)・**役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※研究機関・部署： 現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載し、「特記事項」に事情を記載。

※研究参加者氏名： 提案時に氏名が確定していない場合、「研究員 ○名」等と記載。

※本提案での役割： 「○○サーバーの管理」「○○データセットの整理」など。箇条書きで記載。

※研究参加者の行は、必要に応じて追加。

**○ 特記事項**

|  |
| --- |
| ・特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長など)に仕事時間を要する場合、その事情・理由を記載。 |

**○ 研究開発実施項目および概要**

**・研究題目**

○○DBの開発と運用（例）

**・研究開発概要**

|  |
| --- |
| 【研究代表者グループのみの場合、記載不要】・研究代表者グループが担当する研究の概要を簡潔に記載。 |

**・研究開発構想における位置づけ**

|  |
| --- |
| 【研究代表者グループのみの場合、記載不要】・「研究開発構想」を実現するために研究代表者グループが果たす役割等を記載。 |

###  (共同研究グループの研究実施体制)

|  |
| --- |
| ・研究代表者の所属機関以外の共同研究グループ(共同研究機関)を設置する場合、共同研究機関ごとに記載。・共同研究グループの数に上限はなく、産学官からの様々な研究機関を共同研究グループとすることが可能です。※グループ数に応じて、表を追加削除してください。 |

共同研究グループ (1)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究代表者氏名** | **研究機関・部署** | **役職** |
|  |  |  |
| **研究者番号** | **研究機関コード** |
|  |  |  |
| **研究参加者氏名** | **所属機関・部署**(上記と同じ場合には省略)・**役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※研究機関・部署： 現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載し、「特記事項」に事情を記載。

※研究者番号： e-Radに研究者情報を登録する際に付与される 8 桁の番号。

※研究機関コード： e-Radに所属研究機関を登録する際に付与される10 桁の番号。

※研究参加者氏名： 提案時に氏名が確定していない場合、「研究員 ○名」等と記載。

※本提案での役割： 「○○サーバーの管理」「○○データセットの整理」など。箇条書きで記載。

※研究参加者の行は、必要に応じて追加。

**○ 研究開発の担当項目**

**・研究題目**

○○機能の開発（例）

**・研究開発概要**

|  |
| --- |
| 共同研究グループが担当する研究の概要を簡潔に記載。 |

**・研究開発構想における位置づけ**

|  |
| --- |
| 「研究構想」を実現するために共同研究グループが果たす役割等を記載。 |

# 予算計画

|  |
| --- |
| ・実施計画を遂行するために必要な経費を記載。※その他のデータベース（主たるデータベース以外のデータベース）については、主なデータベースの価値を直接的に高めるための最低限な維持・更新や研究開発のみが可能であることにご留意ください。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

## 1．費目別の予算計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**(H29.4～H30.3) | **2年度**(H30.4～H31.3) | **3年度**(H31.4～H32.3) | **4年度**(H32.4～H33.3) | **5年度**(H33.4～H34.3) | **合計**(百万円) |
| **設備備品費** |  |  |  |  |  |  |
| **消耗品費** |  |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |  |
| **人件費・謝金****(研究員の数)** | () | () | () | () | () |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**(百万円) |  |  |  |  |  |  |

※直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。

＜費目ごとの主な使途など＞

**・設備備品費：** 研究用設備・備品・試作品等を購入するための経費

**・消耗品費：** 消耗品を購入するための経費

**・旅費：** 研究代表者や研究員等の旅費

**・人件費・謝金：** 研究員・技術員・研究補助員、RA(※)等の人材派遣、講演依頼謝金等の経費

**・(研究員の数)：** 研究費で人件費を措置する予定の研究員の人数

**・その他：** 上記以外の経費(研究成果発表費用、会議費、運搬費等)

※RA(リサーチアシスタント)は、募集要項「VII. 7 博士課程（後期）学生の処遇の改善について」参照。

## 2．目的別の予算計画

|  |
| --- |
| ・研究員等が複数の業務に携わる場合の人件費については、業務ごとのエフォートから算出してください。 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**(H29.4～H30.3) | **2年度**(H30.4～H31.3) | **3年度**(H31.4～H32.3) | **4年度**(H32.4～H33.3) | **5年度**(H33.4～H34.3) | **合計**(百万円) |
| **1)最低限の維持にかかる費用** |  |  |  |  |  |  |
| **2)更新にかかる費用** |  |  |  |  |  |  |
| **3)新たな機能やツールの実装にかかる費用** |  |  |  |  |  |  |
| **4)その他** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**(百万円) |  |  |  |  |  |  |

※直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。

**1)最低限の維持にかかる費用**

ドメイン代、機器の保守費など、研究開発対象のデータベースを公開し続けるために必要な費用

**2)更新にかかる費用**

データの登録、標準化を行うための人件費、ストレージの増設費など、これまでと同様の規模・頻度で更新し続けるために必要となる費用

**3)新たな機能やツールの実装にかかる費用**

データベース間連携、オントロジー開発、技術員の人件費、アドバイザリー委員会の開催など、新たな種類のデータを追加したり、今後の新たな方針を策定したりするための費用

**4)その他**

成果発表費用・広報費用など

**○特記事項**

|  |
| --- |
| ・１）、２）の支出予定額が少ないあるいは無い場合、その理由を記載（「他の合算使用可能な費用から支出可能なため不要」など）。 |

## 3．研究グループ別の予算計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**(H29.4～H30.3) | **2年度**(H30.4～H31.3) | **3年度**(H31.4～H32.3) | **4年度**(H32.4～H33.3) | **5年度**(H33.4～H34.3) | **合計**(百万円) |
| **研究代表者G** |  |  |  |  |  |  |
| **共同研究G1** |  |  |  |  |  |  |
| **共同研究G2** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**(百万円) |  |  |  |  |  |  |

※直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。

**○ 購入予定の主要設備 (1件5百円以上、機器名、概算価格)**

(記入例)

○○グループ

△△△△△△△△△△ 1.5 百円

△△△△△△△△△△ 5 百円

△△△△△△△△△△ 10百円

○○グループ

△△△△△△△△△△ 7 百円

△△△△△△△△△△ 10 百円

# 業績リスト・事後評価結果 (研究代表者)

## 1．本研究開発提案に関連する主要な論文・著書等

|  |
| --- |
| ・本研究開発提案に関連するこれまでの主要な論文・著書等の業績を、発表年別が最新のものから順に記載。・10件以内。・記載項目は以下の通り。項目順自由。著者(著者名は全員記入)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

## 2．データベース等の開発・運用実績

|  |
| --- |
| ・これまでの開発・運用に携わってきたデータベース等について以下の項目を記載。名称、URL、データベース等の概要、当該データベースにおける研究代表者が果たした役割 |

## 3．競争的研究資金制度等において代表を務めた研究開発課題の事後評価

|  |
| --- |
| ・平成24年度以降に公開されたもののみ記載。・記載項目は以下の通り。項目順自由制度名称、研究課題名、事後評価掲載先URL |

# 業績リスト (主たる共同研究者)

## 1．本研究開発提案に関連する主要な論文・著書等

|  |
| --- |
| ・主たる共同研究者が近年に学術誌等に発表した論文・著書等のうち、今回の提案に関連し重要と考えるものを中心に、現在から順に発表年次を過去に遡って記載。・主たる共同研究者1人につき10件以内。・記載項目は次の通り。項目順自由。著者(著者名は全て記入)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

## 2．データベース等の開発・運用実績

|  |
| --- |
| ・これまでの開発・運用に携わってきたデータベース等について以下の項目を記載して下さい。名称、URL、データベース等の概要、当該データベースにおける主たる共同研究者が果たした役割 |

# 特許リスト (研究代表者・主たる共同研究者)

## ○ 主要特許

|  |
| --- |
| ・近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると考える重要なものについて、A4用紙1ページ以内で記載。・記載項目は次の通り。項目順自由。出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

### ・研究代表者

### ・主たる共同研究者

# 他制度での助成等の有無

|  |
| --- |
| ・II.1-4-12.「NBDC以外の資金による、データベースへの支援状況」とは異なり、研究代表者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）を記載。・「エフォート」は、「年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）」（総合科学技術・イノベーション会議の定義による）。申請中・申請予定の助成等は考慮せず、本プログラムが採択された場合の研究開発開始時点の値を記載。※本項目の詳細は、募集要項「III.5.不合理な重複・過度の集中に対する措置」を参照。※申請中・申請予定の研究助成等について、内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、募集要項巻末に記載された問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

## 研究代表者：

|  |  |
| --- | --- |
| **制度名** | **ｴﾌｫｰﾄ** |
| 統合化推進プログラム | % |

**【現在受給中】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　Aタイプ |
| **課題名****（代表者名）** | ○○についての研究（JST太郎） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 | **ｴﾌｫｰﾄ** | 50% |
| **研究費** | **(1)期間全体(本人/課題全体）**　5百万円／　7百万円**(2) H29年度（本人/課題全体）** 　1.5百万円／　2百万円**(3) H28年度（本人/課題全体）** 　1.5百万円／　2百万円 | **研究****期間****(年度)** | H28-H30 |
| **本提案との****相違点** | ○○の○○について、○○を用いて明らかにするための研究であり、本提案とは無関係である。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円
2. **H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
3. **H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円
2. **H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
3. **H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

**【申請中・申請予定】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 |
| **研究費** | **(1)期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円**(2) H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円**(3) H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 |
| **研究費** | 1. **期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円
2. **H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
3. **H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

## 主たる共同研究者（１）：

|  |
| --- |
| ・提案書「II.1-4-12. NBDC以外の資金による、データベースへの支援状況」とは異なり、主たる共同研究者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）を記載。・「エフォート」は、「年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）」（総合科学技術・イノベーション会議の定義による）。申請中・申請予定の助成等は考慮せず、本プログラムが採択された場合の研究開発開始時点の値を記載。※本項目の詳細は、募集要項「III.5.不合理な重複・過度の集中に対する措置」を参照。※申請中・申請予定の研究助成等について、内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、募集要項巻末に記載された問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。 |

|  |  |
| --- | --- |
| **制度名** | **ｴﾌｫｰﾄ** |
| 統合化推進プログラム | % |

**【現在受給中】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　Aタイプ |
| **課題名****（代表者名）** | ○○についての研究（JST太郎） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 | **ｴﾌｫｰﾄ** | 50% |
| **研究費** | **(1)期間全体(本人/課題全体）**　5百万円／　7百万円**(2) H29年度（本人/課題全体）** 　1.5百万円／　2百万円**(3) H28年度（本人/課題全体）** 　1.5百万円／　2百万円 | **研究****期間****(年度)** | H28-H30 |
| **本提案との****相違点** | ○○の○○について、○○を用いて明らかにするための研究であり、本提案とは無関係である。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円
2. **H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
3. **H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円
2. **H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
3. **H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

**【申請中・申請予定】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 |
| **研究費** | **(1)期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円**(2) H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円**(3) H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名** **（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割** | 代表／分担者 |
| **研究費** | 1. **期間全体(本人/課題全体）**　百万円／　百万円
2. **H29年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
3. **H28年度（本人/課題全体）** 　百万円／　百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

# 人権の保護および法令等の遵守への対応

|  |
| --- |
| ・研究開発計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合、どのような対策と措置を講じるのか記載。・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験など。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

|  |
| --- |
|[ ]  該当無し |
|[ ]  該当あり（以下に詳細を記載） |

# 照会先・その他特記事項

## ○ 照会先

|  |
| --- |
| ・本研究開発提案の研究参加者ではない方で、本研究開発提案に係る研究分野動向や開発対象のデータベースをよくご存じの方2-3名程度について以下の項目を記載。氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)、共著関係など利害関係の有無・選考(事前評価)の過程で、評価者(研究総括および領域アドバイザー)が、本研究提案に関して照会する場合があります。**【ご注意：本欄含む注記メッセージは提出前に研究提案書から削除】** |

## ○ その他特記事項

|  |
| --- |
| ・本プログラムに応募した理由、研究に際しての希望、異動予定があるなどご事情その他について記載。 |

# 提出前確認シート（※本シートは削除し、提出しないでください。）

**○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な確認ポイント | 募集要項参照箇所 | チェック欄 |
| e-Radへの研究者登録が済んでいるか | 「別紙 e-Rad入力手順」 | □ |
| 研究倫理に関する教育プログラムを修了したか | 「Ⅲ.4.研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について」 | □ |
| 研究総括と利害関係がないか※ | 「Ⅲ.2.研究開発提案者と研究総括の利害関係について」 |  |
| A | 研究総括と親族関係にある。 | 該当なし□ |
| B | 研究総括と大学、独立行政法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | 該当なし□ |
| C | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去5年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。) | 該当なし□ |
| D | 過去に通算10年以上、研究総括と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にあったことがある。“密接な師弟関係”とは、同一の研究室に在籍したことがある場合を対象とします。また所属は別であっても、研究総括が実質的に研究指導を行っていた期間も含みます。 | 該当なし□ |

※明確に判断し難い項目が1つでもある場合、事前に募集要項巻末の問合せ先まで問い合わせ願います。

**○ 提出期限について**

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いいたします。

**○ 各様式について**

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 主な確認ポイント | チェック |
| 全体 |  | PDF変換後のファイルに文字化け、図表の抜けなどがないか。 | □ |
| 表紙 |  | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式1 | 研究開発提案の要旨 | 400字程度か。 | □ |
| 様式2 | 構想 | 「実施計画」は、フォントサイズが10.5pt以上か、またPDFに変換された状態で6ページ以内か。 | □ |
| 様式3 | 実施体制 | 記載漏れ(特に、主たる共同研究者の「所属研究機関コード」「研究者番号」)がないか。 | □ |
| 様式4 | 予算計画 | 各表の合計値と様式1の総額とが一致しているか。 | □ |
| 様式5 | 業績リスト・事後評価結果（研究代表者） | 関連する論文は、10件以内か。 | □ |
| 様式6 | 業績リスト（主たる共同研究者） | 関連する論文は、10件以内か。 | □ |
| 様式7 | 特許リスト | 1ページ程度か。 | □ |
| 様式8 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式9 | 人権の保護および法令等の遵守への対応 | （該当しない場合）その旨記述したか。 | □ |
| 様式10 | 照会先・その他特記事項 | A4用紙2ページ以内か。 | □ |